

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般財団法人谷桃子バレエ団
公演団体名	谷桃子バレエ団

内容
<p>○クラシック・バレエ特有の手足のポジションとともに、基本的な動きを知ってもらうため、バレエを始めたばかりの人もプロのダンサーも稽古はこの動きから始めるという〈バー・レッスン〉と、バー・レッスンの応用となる〈センター・レッスン〉からジャンプや簡単な回転などを一緒に行います。フランス語で出来たバレエ用語の解説もしながらバレエの世界への第一歩を体験していただきます。</p> <p>(レッスン・バーの代用としてパイプ椅子などを使用します。参加される児童(生徒)数分のパイプ椅子のご準備をお願いいたします。)</p> <p>○「白鳥の湖」など古典全幕作品の物語進行に欠かせない〈マイム〉(身振り手振りの動作による会話)の主だったものを指導します。</p> <p>○ワークショップに参加された児童(生徒)の中から、数名に本公演(2部構成)の第1部～バレエの基本についての解説と実演～にご出演いただきます。(※)</p> <p>※本公演第2部～「白鳥の湖」第2・3幕ダイジェスト版～でも、メイク・衣裳つきで数名ご出演いただきますが、こちらはワークショップの参加にはこだわりません。いずれも出演する児童(生徒)さんの決定は学校にお任せいたします。衣裳の寸法などは相談させていただきます。</p>

タイムスケジュール(標準) 9:00 開始の場合			
8:30 到着、会場準備	9:00 ワークショップ～	10:40 頃～ 本公演打合せ	11:20 頃 退出
※ワークショップと並行して、スタッフが会場下見(体育館計測及びトラックバス搬入経路確認)			

派遣者数
合計(8名) 内訳:指導者(3名)=主指導者(女性)、男性指導者、女性指導者 スタッフ(5名)=舞台監督、舞台監督補佐(2名)、事務担当(2名)

学校における事前指導

「バレエって何だろう？」または「どんなイメージ？」など、学校でバレエを観る・体験することに対する簡単な‘心の準備’をして頂けるとよいと思います。

当日は体操着など動きやすい服装で、バレエシューズの代用となるよう、汚れてもよい靴下をご用意いただくことをお願いいたします。(底の堅い運動靴や上履きは脱いでいただきます。)

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	一般財団法人谷桃子バレエ団
公演団体名	谷桃子バレエ団

演目
【第1部】 ○クラシック・バレエの練習風景(身体作りの基本、マイムの解説と体験) ○クラシック・バレエの基本的な動きや歴史のお話し 【第2部】 ○チャイコフスキー作曲「白鳥の湖」全4幕より、 第2幕「湖畔でのオデットと王子の出会い」と 第3幕「王子の成人を祝う舞踏会」の抜粋を上演

派遣者数
合計(60名) 出演者(35名) スタッフ(25名) 振付、舞台監督、照明、大道具、衣裳、音響、運送、事務

タイムスケジュール(標準)							
8:00	9:30	12:10	13:15	13:30	15:20	～16:30	16:45
スタッフ到着 ～搬入・設営	出演者到着 ～リハーサル	児童(生徒) 児童のリハーサル	開場	開演	終演	撤去・荷積み	退出

実施校への協力依頼人員
特にありません。

演目解説

【第1部】

「バレエについてのお話し」—バレエの成り立ちや歴史、基本的な動作や身体の使い方やマイムなど、実演を交えて解りやすくお話しします。

- 舞台にひな壇とレッスン・バーを設置し、バレエダンサーに必要な身体作りの基本を、児童(生徒)の皆さんに解りやすく説明しながら行う。
- 様々な動きやステップの練習を行い、その組み合わせによって踊りが出来ていく過程をご覧いただくとともに、男性が女性を支えて踊る〈アダージョ〉を実際に舞台上で一緒に体験していただきます。
- クラシック・バレエの物語進行に欠かせない重要なマイム(身振り手振りの動作による会話)を解説し、教師とダンサーが児童(生徒)の皆さんと一緒にいきます。

【第2部】

「白鳥の湖」(全4幕)の第2幕及び第3幕を抜粋で上演

- 基本的な動きから始まる日々の稽古と、鍛錬の積み重ねが結実して出来るバレエ芸術の美しさに触れて頂きます。チャイコフスキーの名曲に乗せて踊られる「白鳥の湖」全4幕から、「四羽の白鳥」ほか代表的なヴァリエーションや、クラシック・バレエの醍醐味ともいえるグラン・パ・ド・ドゥ、隊列の美しいコール・ド・バレエ(群舞)など、典型的なバレエ・ブラン(白い衣裳で踊られる美しいバレエ)の第2幕と、中世ヨーロッパの優雅な婚約姫の踊りや民族色豊かなスペインの踊り、ハンガリーの踊りとともに、技巧に富んだ動きを盛り込んだグラン・パ・ド・ドゥが踊られる華やかな第3幕を、わかりやすい解説とともに抜粋で上演します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- 体育館での設営を見学。
※安全性の問題から作業への参加は困難ですが、ご希望により舞台設営のための搬入や、音響・照明などいろいろなスタッフが協力して一つの舞台を作り上げる過程を見学することは可能です。(見学場所は安全のため舞台スタッフの指示に従っていただきます。ご希望がある場合は事前にお知らせ下さい。)
- 【第1部】では バー・レッスン と マイム で音楽と共に実際に表現し、センター・レッスン では簡単な アダージョ(男女ペアの踊り)を体験していただきます。
- 【第2部】「白鳥の湖」第3幕で 舞踏会の客人役として、メイク・衣裳付で参加、共演していただきます。(衣裳準備のため、出演者は公演の1ヶ月前までに学校側で決めていただきます。)

児童生徒とのふれあい

- マイムやレッスン、「白鳥の湖」第3幕への参加を通してふれあうと共に、観ている児童(生徒)の皆さんとの対話も進行に盛り込み、積極的な鑑賞を促します。
- 体育館のステージ(舞台面)は使用せず、平場(床面)に舞台を設営することで、鑑賞する児童(生徒)さんたちとの一体感を大切にします。